

## 住宅取得祝金支給制度のお知らせ

住宅を新築または購入した方にお祝いとして  
現金と曾於市が発行する商品券を支給します

**対象者**

市内に居住するため住宅を新築または購入した方

**申請**

新築・購入の日以後1年以内に申請してください。

なお、新築・購入の基準日は、法務局の登記（新築・所有権移転）の日付とします。

**基本の祝金等**

市内業者による新築

商品券10万円分、現金10万円

市外業者による新築

商品券5万円分、現金5万円

未入居の建売住宅購入

商品券5万円分、現金5万円

右記以外の中古住宅購入

商品券2万5千円分、現金2万5千円

※中古住宅とは、居住が可能で耐用年数が10年以上見込まれるものです。

**転入者加算**

転入して1年以内の方には、商品券5万円分と現金5万円を加算します。

なお、本市から転出後3年以内の再転入は対象外とします。

**支給対象外となるもの**

・市の定住促進住宅用分譲地への新築

・市税等の滞納者

・住宅リフォーム促進補助金、危険廃屋解体撤去補助金を受けた方



4月5日に行われた住宅取得祝金交付式

お問い合わせ先

曾於市役所本庁 企画課 定住推進係  
電話 ☎ 0986-76-8802 (直通)

## 結婚祝金制度のお知らせ

農林業の後継者又は新規就業者の皆さんへ  
結婚祝金5万円を贈呈します

### 結婚祝金対象者

次の①から③までのすべてを満たし、結婚をされた方に結婚祝金を贈呈します。

- ①曾於市の住民として、住民基本台帳に登録されている方
- ②おおむね45歳未満の方
- ③後継者または新規就業者で、今後農林業に従事し、地域の農林業の振興に寄与すると認められる方

**後継者** 親が経営する農林業に就業し、経営を引継ぎ専業とする方

**新規就業者** 新たに農林業に就業し、専業とする方

**祝金の贈呈額 1組 5万円**

### 祝金の申請

該当される方は、農林振興課または各支所産業振興課へ申請してください。



3月17日に行われた結婚祝金贈呈式

お問い合わせ先

農林振興課・各支所産業振興課

本庁 ☎ 0986-76-8808

大隅 ☎ 099-482-5950

財部 ☎ 0986-72-0938

## 成人肺炎球菌ワクチン予防接種について

今年度は下記の年齢の方が補助の対象です。

対象者には平成 28 年 4 月上旬に個別通知をしています。接種を希望される方は必ず通知書を医療機関に持参してください。

### 1 補助の対象者

【対象年齢】平成 28 年度（平成 29 年 3 月 31 日）末日に下記の年齢となる方  
（これまでに一度も成人肺炎球菌ワクチンを接種されていない方が対象です）

65 歳：昭和 26 年 4 月 2 日生～昭和 27 年 4 月 1 日生まれ  
 70 歳：昭和 21 年 4 月 2 日生～昭和 22 年 4 月 1 日生まれ  
 75 歳：昭和 16 年 4 月 2 日生～昭和 17 年 4 月 1 日生まれ  
 80 歳：昭和 11 年 4 月 2 日生～昭和 12 年 4 月 1 日生まれ  
 85 歳：昭和 6 年 4 月 2 日生～昭和 7 年 4 月 1 日生まれ  
 90 歳：大正 15 年 4 月 2 日生～昭和 2 年 4 月 1 日生まれ  
 95 歳：大正 10 年 4 月 2 日生～大正 11 年 4 月 1 日生まれ  
 100 歳：大正 5 年 4 月 2 日生～大正 6 年 4 月 1 日生まれ

60～65 歳未満：昭和 27 年 4 月 2 日生～昭和 32 年 4 月 1 日生の方で心臓、腎臓又は呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人（身体障害者手帳 1 級相当）も対象

※対象となる年度は 1 回だけですのでご注意ください。

### 2 補助内容

対象者	市補助額	個人負担額
上記表の対象者	3,000円	接種料の差額分
生活保護受給者	7,000円	接種料の差額分

※補助期間を過ぎた場合は全額自己負担となります。

3 補助期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

4 補助医療機関：原則は曾於市内の指定医療機関。ただし、鹿児島県内に主治医のある方は、その医療機関でも可能です。なお、現在入院・入所中の方は他県の医療機関でも可能ですが、事前に医療機関との契約が必要となります。接種される前に、必ず市役所・保健課へお問い合わせください。

お問い合わせ先

曾於市役所本庁 保健課  
 〒 899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方 1980 番地  
 電話 ☎ 0986-76-8806（直通）

# 平成28年度 施政方針



3月定例議会が2月19日から3月25日まで開かれ、五位塚剛市長は平成28年度の施政方針を述べました。今回は、その施政方針および予算の概要をお知らせします。



平成28年第1回曾於市議会定例会が開会されるにあたり、市政運営に臨む私の姿勢と所信の一端を申しあげますとともに、平成28年度の一般会計予算案の重点施策など、その概要についてご説明申し上げます。

本市におきましては、国の施策に対応するとともに、この10年間で約5千人もの人口が減少している事実と超高齢化に対する危機意識を市民全体で共有し、市民が安心して働き、希望通り結婚し子育てができ、将来に夢や希望を持つことができるような魅力あふれる地域社会を実現していくため、「曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施していくことといたしました。

私は、市長当選後2年と7カ月が経過致しましたが、曾於市民の皆様と約束しました公約の実現に、今後も更に努力してまいります。

まず、思いやりふるさと寄附金推進事業につきましては、昨年度に引き続き、全国から多くの寄附金をいただき、

お礼として本市の特産品を贈呈しております。平成27年度は、4月から12月までの9カ月間で、2万9千人を超える皆様に、約5億5千万円の寄附金をいただきました。曾於市を応援くださいました全国の皆様に、心より感謝申し上げます。28年度も、更に、特産品の品目を増やし、地域活性化と曾於市のPRに努めて参ります。

敬老祝金支給につきましては、引き続き75歳以上の全員に3千円のお祝い

を支給します。

また、高齢者等の買い物弱者救済として、昨年より実施している道の駅宅配サービスは、重要な施策と捉え、利用者増となるようサービスの充実を図ります。

子育て支援の立場から、保育園・幼稚園等の保護者負担金の軽減や高校生3年生相当時までの医療費の無料化を継続して実施し、安心して子育てできる環境づくりを進めて参ります。

さて、平成27年度は、3町が合併し曾於市が誕生してから10年目の節目の年となりました。10周年を記念し、合併記念事業として、NHKのご自慢が6月28日に大隅文化会館において開催されました。全国から725人の出演応募があり、予選通過された20組

の出場者の熱演のもと、本市を全国にPRできたものと思っております。また、7月5日には、合併10周年記念式典を実施し、この中で本市のゆるキャラ「そお星人」をお披露目しました。この後、市内外でのイベントに「そお星人」が登場し、異彩を放つその風貌により好評を頂いているところです。今後も「そお星人」とともに本市を全国的にPRできるよう取り組みを行ってまいります。

また、これまで地域内放送として行ってきた有線放送とオフトゥークに代わる「曾於市コミュニティFM放送局」が28年度に開局します。防災を含めた情報発信の中核として、地域の活性化が図られるよう、放送局の着実な運営を進めて参ります。

曾於市には、桜の花を楽しめる、大隅弥五郎伝説の里があります。ここを、早咲きのカワツ桜に始まりソメイヨシノ、そして遅咲きの八重桜と長期にわたり桜の花を楽しむことができる景勝地となるように、合併記念事業として、2月14日に桜110本の植樹を行いました。将来、南九州一の桜の名所を目指し、今後も植樹等の取り組みを行っていきます。

まちの発展には、産業の振興が欠かせません。曾於市は、畜産を中心とする農業のまちであり、農業生産が大きく増えることが本市発展の基本であります。特に畑かんの水を活用して、農作物の収量増、品質向上を図り農家の所得の向上を目指します。また、農家の経営安定を図るために、加工・業務用野菜の取り組みを、更に推進します。

また、平成28年度から経済課の農業・林業部門を農林振興課とし、商工・観光部門を商工観光課として新設して商工業の振興と観光誘致のための推進を図って参ります。

まちづくりは、人づくりであり本市発展の基本となるものです。学力向上を最大の目標として、小中学校の学習環境整備を積極的に進めるとともに、曾於高等学校への発展にも積極的に関わっていきます。例えば、野球・サッカー等を含めたスポーツでの優秀な人材の育成や、国公立大学へ多数合格できる学力優秀な人材の育成に對しまして、学校と連携して参ります。

平成28年度の予算編成は、27年度に

## 曾於市総合振興計画における市の将来像

豊かな自然の中で  
みんなが創る 笑顔輝く元気なまち

### 平成28年度予算編成方針

- ①市民にやさしい市政運営
- ②人と自然を生かした活気ある地域づくり
- ③教育・文化を促進し心豊かなまちづくり
- ④人口増対策を目指し、地域活性化の推進
- ⑤農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり



引き続き、市民の皆様が開かれた市政を目指すとともに、農畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を更に推進し、子どもからお年寄りまで笑顔が輝き元氣なまちづくりを目指すため、

- ①市民にやさしい市政運営
- ②人と自然を生かした活気ある地域づくり
- ③教育・文化を促進し心豊かなまちづくり
- ④人口増を目指し、地域活性化の推進
- ⑤農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり

の5つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成しました。

その結果、平成28年度の一般会計当初予算は、219億1千445万9千円となり、前年度当初予算に対して、11億8千554万9千円、5.1%の減となりました。

また、特別会計予算におきましては、予算総額が、136億1千399万9千円となり、前年度当初予算に対して、3億9千178万3千円、3.0%の増となりました。

以上、平成28年度における市政運営の基本的な考え方について申しあげましたが、議員各位ならびに市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願いし、お願い申しあげる次第であります。

平成28年2月19日

曾於市長 五位塚 剛

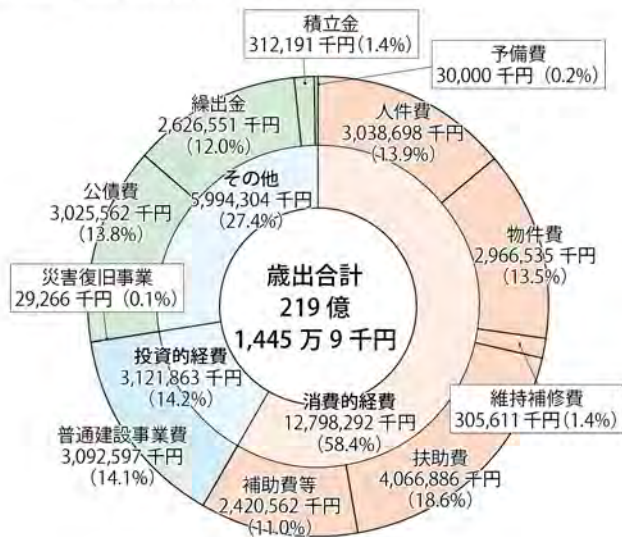
会 計		平成28年度額	平成27年度額	増減額	増減率
一 般 会 計		219億1,445万9千円	231億円	△11億8,554万1千円	△5.1%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	70億8,520万1千円	69億3,027万2千円	1億5,492万9千円	2.2%
	後期高齢者医療特別会計	5億6,030万円	5億3,673万1千円	2,356万9千円	4.4%
	介護保険特別会計	54億5,870万8千円	52億1,612万9千円	2億4,257万9千円	4.7%
	公共下水道事業特別会計	2億56万6千円	2億319万2千円	△262万6千円	△1.3%
	生活排水処理事業特別会計	1億1,487万9千円	1億1,462万6千円	25万3千円	0.2%
	笠木簡易水道事業特別会計	1億9,433万6千円	2億2,125万7千円	△2,692万1千円	△12.2%
	合 計	136億1,399万円	132億2,220万7千円	3億9,178万3千円	3.0%
水道事業会計(収益的支出および資本的支出)		9億5,543万6千円	8億8,215万4千円	7,328万2千円	8.3%
合 計		364億8,388万5千円	372億436万1千円	△7億2,047万6千円	△1.9%

# 平成 28 年度一般会計当初予算

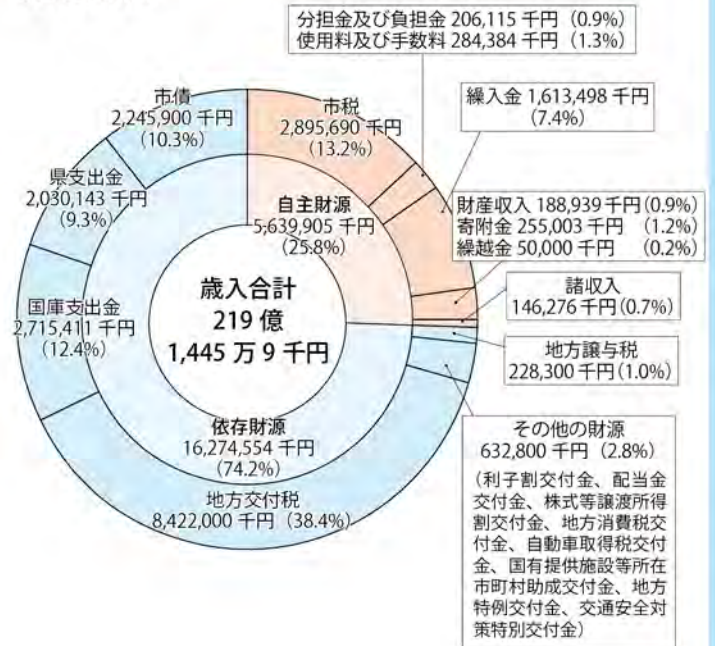
～ 市民の目線に立ち、小さな声も大切にする市政を目指します。～

## 一般会計歳入歳出総額 219 億 1,445 万 9 千円

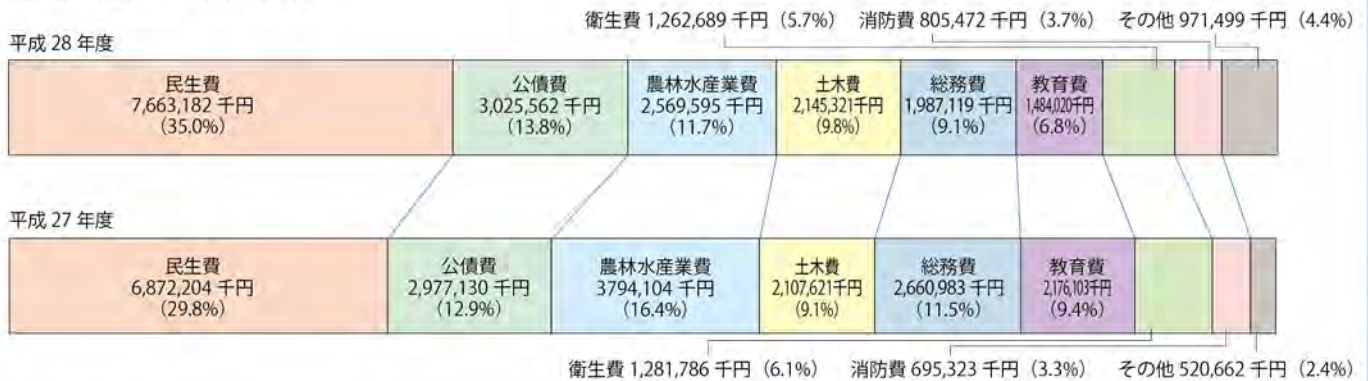
歳出の性質別分類の状況



歳入の状況



歳出の目的別分類の状況



曾於市の平成 28 年度当初予算は、平成 28 年第 1 回市議会定例会で 3 月 25 日に可決しました。

この予算は、小さな声も大切に、市民に開かれた市政を目指すとともに、農・畜産物の付加価値を高め、商工業の発展を推進し、子どもたちの笑顔が輝き、お年寄りまで元気なまちづくりを目指すため、「市民にやさしい市政運営」、「人と自然を生かした活気ある地域づくり」、「教育・文化を促進し心豊かなまちづくり」、「人口増対策を目指し地域活性化の推進」、「農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり」の 5 つを基本方針として、限られた財源の中で、市民の福祉、教育、くらしを守るための予算として編成しました。

また、一般会計当初予算の総額は、219 億 1 千 4 万 4 千 5 万 9 千円で、平成 27 年度と比較して 11 億 8 千 5 万 5 千 1 千円、5.1% 減の予算となり、市税等の自主財源の大幅増は見込めないことなどから、一般財源の不足額約 16 億円を財政調整基金等の取り崩しで対応しました。